

報告事項才

倉吉東高校の国際バカロレア ディプロマ・プログラム（IBDP）の認定について

倉吉東高校の国際バカロレア ディプロマ・プログラム（IBDP）の認定について、別紙のとおり報告します。

令和4年10月20日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

倉吉東高校の国際バカロレア ディプロマ・プログラム（IBDP）の認定について

令和4年10月20日
高等学校課

倉吉東高校への国際バカロレア ディプロマ・プログラム（IBDP）の導入については、令和4年度認定校認定（令和5年度一期生入学）を目標に準備等を進めてきたところ、令和4年8月30日～31日にIBDP認定校となるための準備状況を最終確認するための国際バカロレア機構担当者による確認訪問が行われ、その審査の結果、令和4年9月23日付けで認定校に認定されましたので報告します。

1 倉吉東高校におけるIB教育導入について

- ・倉吉東高校は、公立高校として日本海側初のIBDPの導入校となる。
- ・倉吉東高校の長期ビジョンである「倉吉東高のかたち」（2001年策定）では「主体的な学習者の育成」と「21世紀をリードする人材の育成」を柱としており、IB教育の理念や目標との親和性が高く、IB教育を取り入れることにより、「解のないことについて探究すること」等を通じて、学習指導要領が目指す資質・能力でもある「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間力等」の育成をより一層充実させ、国際バカロレアの普遍的な価値を倉吉東高校から全県に普及していくことが期待される。
- ・倉吉東高校ではディプロマ・プログラムを実施し、グループ1～6の6科目と3つのコア科目（知の理論、課題論文、創造性・活動・奉仕）を高校2～3年の2年間で学習し、高校3年11月に世界共通テストを受験する。
- ・倉吉東高校では、ディプロマ・プログラムの6科目のうち「外国語（言語B）」と「数学（解析とアプローチ）」の2科目の授業を全て英語で実施（ネイティブ教員と日本人教員によるティームティーチング）。

2 国際バカロレア（IB）教育導入に係る認定プロセスの概要について

- ・令和元年度 7月：関心校表明、3月：候補校申請
- ・令和2年度 4月：候補校認定、12月：コンサルタント訪問
- ・令和3年度 10月：コンサルティング終了、1月：認定校申請
- ・令和4年度 8月：国際バカロレア機構による確認訪問、9月：認定校認定

3 今後のスケジュール（予定）

令和4年度

- ・ネイティブ教員（科目「言語習得」担当教員）の確保
- ・高校生国際バカロレアフォーラム（令和4年11月20日（日）倉吉未来中心で開催予定）

令和5年度

- ・IBコース一期生入学（令和5年4月）

4 その他（国際バカロレア（IB）教育について等）

- ・1968年、スイス・ジュネーブにIB機構が設立され、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界の構築に貢献できる、探究心・知識・思いやりに富んだ若者の育成を目標に掲げている。
- ・国内の認定校数 151校（令和4年6月末現在）（うち公立高校は10校）
- ・国際バカロレア教育では、国際的な視野とIBの学習者像（探究する人、知識のある人、考える人、コミュニケーションができる人、信念をもつ人、心を開く人、思いやりのある人、挑戦する人、バランスのとれた人、振り返りができる人）を育むこととなる。
- ・問いに対する答え（「正解」）を導き出すことが前提（⇒解法を学ぶ）の従来の学びから、問いに対する答えに「正解」がないことが前提（⇒思考の枠組みを学ぶ）の学びとなる。
- ・探究活動、グループディスカッション、プレゼンテーション等を通じて、高度な論理的思考力や表現力、コミュニケーション能力等を身につける学びとなる。
- ・IB資格を活用した大学入試が可能な主な国内大学：
北海道大、東北大、東京大、京都大、大阪大、岡山大、広島大、慶応義塾大、早稲田大他